

3. 授業デザインスキルアップ演習 平成 27 年 8 月 8 日(土) 10:00 - 16:30

担当教員：中井 弘一

対象 本学学生 4年次集中講座（教育実習履修後）

現職中学校・高等学校教員 参加教員：32名

概要

現職教員向けの研修に教育実習修了の4年生に皆受講させ、プロフェッショナルとしての指導力の養成を図る。そのため、教員免許更新講習を受講させ現職教員と共に学ぶ機会を与える。

- ・ 日常の授業設計・展開での成功例や失敗例を基に、さらに授業力を高める教育方法を探究する。

テーマ「アクティブ・ラーニングとは何か、その方略を考える」

内容

アクティブ・ラーニングとは、文部科学省が2012年に示した説明によると、「教員による一方向的な講義形式の教育とは違って、生徒たちの能動的な参加を採り入れた指導・学習方法の総称」で、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習などが含まれ、教室内での集団議論、討論会、グループ・ワークなども有効な方法だとしている。今回は、期待が高まっているこのアクティブ・ラーニングを取り上げる。

アメリカ（National Training Laboratories）の調べによると、授業から得た内容を覚えているかを半年後に調べたところ、定着率の高い学習方法を定着率の高い順に並べると、「他の人に教える」、「自ら体験する」、「グループ討論」の順で、最も定着率の低い学習方法は、ただ黙って講義を聞くという結果であった。アクティブ・ラーニングはなぜ効果があると考えられているのか、また、個々の生徒の学習意欲や学習能力を高めるためにはどのようにアクティブ・ラーニングという学習方法を活用すればよいのか、その方略を中学・高校の英語の教科書などを使った実習を通して参加者で考える。

午前 10:00 ~ 12:30

- ・ アクティブ・ラーニング(1) アクティブ・ラーニングとは何か、その方略を考える

午後 13:20 ~ 16:30 途中休憩 10分

- ・ アクティブ・ラーニング(2) 教科書や教材をもとにアクティブ・ラーニングの実習
- ・ アクティブ・ラーニング(3) 討論：アクティブ・ラーニング導入・活用の工夫

参加教員コメント

- ・ いつも、いつも大量の資料を下に、深い内容のご講義を頂き大変勉強になります。Active Learningという言葉の表面的なイメージや、よく示される探究学習のような指導例にばかり目が行くのですが、より深く広い視野でActive learningについて考え捉えることができました。確かに一方的な講義だけではダメですが、学ぶべき内容や方向性をしっかりと示すことは講義型であれ、活動型であれ大切なことで、生徒の学びの段階に応じて、それぞれを使い分け、生徒と同じ方向を向きながら学習を進めていきたいと考えさせられました。評価についての話や実際の教材をもとにした実習など、豊富な資料集とともに大変学びの多い一日になりました。学校に持ち帰り他の教員とshareしたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・ たくさんの資料ありがとうございました。読み始めたいくつかのactive learningの本の色々な部分が出て来て、先生のご苦勞とご努力が偲ばれました。教師にとっての研修の大切さとともに生徒自身が今まで以上に学ぶ使命をしっかりと持って、責任のある学びを重ねていかなければならないと感じております。その為のステップをしっかりと踏んで行かせたいです。
- ・ 中井先生がこの講習を行うにあたり、様々な書籍や論文を読まれて資料をまとめていただき、講習は大変分かりやすいものでした。受講者である私をもっとactiveに同じように事前に何かの課題を持って参加すべきであったと反省しております。アクティブラーニングを用いた授業をするにあたり、どのような授業を行い、それを行うためのこれまで行ってきた活動をどう関連づけていくかを考える良い機会になりました。私たちが事前にもっとこのアクティブラーニングを勉強してきて、更にこの受講後に振り返りをして、どう目の前の生徒や授業に活かしていくかを考えて行く機会となりました。大変なご尽力と資料に感謝いたします。
- ・ 1日があっという間に終わってしまいました。まず、自分の頭を柔らかくすること、そしてできることから始めていきたいと思っております。ありがとうございました。
- ・ 今回もとても役立つ情報と授業展開に対する意気込みを充電する良い時間を与えていただいたことに感謝します。次回も楽し

みにしています。

- アクティブラーニングの方略については、アクティブラーニングのなり立ちを始め、既知の指導方法に加えて、Inactive, Reactive, Proactiveなどのアクティブラーニングの多面性についても触れることができ、本当の学びにつなげるために、いかに日常の授業準備が大切か、改めて認識を強くした。集中的にアクティブラーニングのことを考える貴重な時間となり、私の授業計画においても、今日教えていただいた理論を意識し、「単に話し合うことがアクティブラーニングではない」ということをよく考えて少しでも「生徒とともに作る授業」を進めていきたい。詳細な資料、丁寧な説明の数々…本当にありがとうございました。
- 本日はご丁寧な資料を用意していただき、1日充実していました。ありがとうございました。アクティブラーニングとは何かが具体的にわかり、自分が考えてきたことや実践してきたことと重なり、とても嬉しかったです。これから、今日の資料をさらに読み、参考文献等も読ませていただいて現場で、生徒ともに学んでいこうと思います。ありがとうございました。
- 経験や本を読んで考えたこと、人から聞いたこと等で、普段自分が考えたこと挑戦したことの理論的背景をストーンと落としてもらった気がします。人と関わることで学べる学校の教室という環境を最大限に活かした学習形態を今後も一指導者として研究を深めていければと思っています。本日は有り難うございました。
- アクティブラーニングをいつも取り入れたいと考えていたが、実は自分は授業形態ばかりに囚われていたのだと気付いた。午前中のお話を聞き、“思考を活性化する学習形態”を念頭に授業をデザインしていきたい。午後からの2部でも多くのスライドを用意していただき、このテーマをとりまくLiterature Reviewをやっていただいたような気がする。ただ、ひとつひとつのスライドを消化することなく、次々に中身が移っていくこととなったことが残念です。中身を半分程度に絞っていただき少ない項目であっても、グループ内であるいは全体で深く話し合う時間を取っていただきたいと思いました。しかしながら、本当に多くの視点を与えていただき、これからの授業の組み立ての参考となる充実した1日でした。本当にありがとうございました。
- 今年度もスキルアップ演習ありがとうございました。アクティブラーニングについて、いろんな研修会がありますが、ひと味違った「英語」のアクティブラーニングの可能性について考えることができました。内容がたくさんあるので、これを消化するのにもう少し時間がかかりそうです。マイケル・サンデルの白熱教室は、私の理想のアクティブラーニングの一つかも…と、今日のお話を伺いながら感じました。だからこそ、それを実現するために教師側と生徒側に必要なものは何かと考えています。
- 「アクティブラーニング＝生徒が活動している授業」とする解釈は、アクティブラーニングという言葉がパスワード化してしまい、ややもすると生徒が活動していればOKというような、“上滑り”の授業を生むきっかけにすらならないかと心配しています。生徒が順調に動いていければ満足で、そこに学びはあるのかということを問いかけながら、授業者は授業をすべきであると感ずります。アクティブラーニングをディープなものにするために、注意点と具体的な手立てをたくさん教えていただいたように感じます。ありがとうございました。どのような授業を行っていくか、ディープ・アクティブラーニングを促していくかについては、まだ、不明な部分が多く残っています。もう少し他の先生方と話し合える時間があればなお良かったです。ありがとうございました。
- アクティブラーニングの話は大学の授業でも時々話されていた題材でしたが、現職の先生と話をさせていただくことで、生徒間のやる気の違いや学習進度等を考慮した上で、アクティブラーニングが行えるような授業を展開することはとても難しいことがわかりました。また、そのような難点があることから、評価の仕方や学習・教授方法の種類・コンピテンシーの定義など、授業をする上で原点となる事柄を見直すことが新しい（実際は新しくないということも初めて知りましたが）指導方法を導入する上で必要になってくるのだと気付きました。文科省がアクティブラーニングの必要性を説く根拠やアクティブラーニングの具体的な活用方法（一番最初の紙を投げるのが一番楽しく活用できそうでしたが）など、色々なことを知ることができて本当に為になりました。ありがとうございました。
- 言葉ばかりが独り歩きしているようなアクティブラーニング。あれもアクティブこれもアクティブ。「アクティブに非ずば授業に非ず」の勢いですが、何だか紅茶キノコか地中海ヨーグルト、ぶら下がり健康法を思わせる昨今、先生の講義を拝聴し、日頃のモヤモヤが晴れました。全く同感の思いです。迷わずぶれず授業に臨んでいきます。ありがとうございました。パワフルな先生にたくさん元気と知恵をいただきました。感謝です。
- いつもことですが、分厚い資料ありがとうございました。中井先生と同じく、どんな学びもactiveなものだと思います。どれくらい生徒が自発的に学習に取り組み、自律した学習になるか、その手助けのために、様々なアプローチ（アクティブラーニング要素入り）を学ぶことができました。「自分に一番ふさわしい学習法」を見つけるようにいつも生徒に話しています。提供できるネタが増えました。
- アクティブラーニングという考えが広まっている中、一般的に言われている「生徒主体・能動的」などの言葉だけを拾っているだけではわからない。もしくは勘違いをしてしまいがちな本当の意味でのアクティブラーニングとはなにかということを考える良いきっかけになりました。教師の理念をベースに、本日もいただいた驚くほどたくさんの例やtipを参考にさせていただいて自分の

教えているクラスの生徒に適したアクティブラーニングを考えていきたいと思いました。

- 昔、我孫子にある府教育センターで研修を受けさせていただいて以来でした。その時と全くお変わりのないエネルギーで、英語愛に溢れた講習、本当に参考になり刺激になりました。こんなにたくさんのスライドと内容の濃い資料を作っていただいて、本当に感動・感激でした。いろんな先生方も意見交換でき、こんなにたくさんの先生方がアクティブラーニングはどうなるのだろう、どうするんだろうと真剣に考えておられるのが伝わってきました。皆さん英語が好きで、生徒を心から大切にされているのもよくわかりました。明日からの鋭気になりました。これからもお願いします。お元気で。
- 今日は本当に多くの資料を紹介いただきありがとうございました。進学校（SGH2年目）に勤務しているながら、3年生の担任をしておりSGHやアクティブラーニングの授業に全く未だに関われないことに焦りと不安を感じておりました。いつも疑問を感じていたことは、「アクティブラーニングは絶対的にいいものか、講義型ではいけないか」ということでしたが、先生の「上手くバランスを取って両方を活かす」という言葉に勇気をもらいました。同時に自分が今現在授業で行っている簡単なペアワークも「アクティブラーニング」の一環だと、自信を持つことができました。1年に一度は大阪女学院大学で勉強させてもらっています。（今年で4年目）また、今後とも（元気を頂きに参加させてもらいますので）よろしく願いいたします。
- アクティブラーニングという言葉が独り歩きし、今まで自分が受けてきた、または、行ってきた授業が今は全く通用しないものになっているかのように感じています。今日の先生のお話を伺い、もっと広い意味でアクティブラーニングを捉えてもいいと感じ、少しほっとしています。しかし、アクティブラーニングを極めようとする多岐に亘り、ディスカッションやディベートができるようにまで指導するのは大変だと思います。いろんな知識が自分にないと、そういう指導はできないと考えていました。しかし、今日のようにたくさんの教えるヒントを提示していただき、「目からうろこ」のように感じました。アイデアさえあれば、生徒をあきさせずに楽しく役に立つ授業ができるのだと知りました。いつもたくさんの情報を惜しげもなく与えて下さり、ありがとうございます。
- アクティブラーニングという言葉が独り歩きしているようにも思いますが、今日の中井先生の講習を受講して、教えて考えさせる授業が理想的だなと思いました。やはり、active/passiveという二元論でなく、教師主導と生徒中心のバランスを考えて授業を組み立てていくことが大切なんだと改めて感じました。
- 昼からの受講でしたが、また改めてアクティブラーニングって生徒に考えさせる事で、気づきを促し、学びを深くするものだなあと感じました。Cellist in Sarajevoの話は、松川先生の発表の際に一度聞いていましたが、今日再度、ジグソーリーディングの機会を与えられて、その良さを再確認しました。感動的な話であればあるほど、どんな話か知りたいという気持ちになりました。
- アクティブラーニングという言葉だけが独り歩きしてしまっている気がしていました。また、本当にプロジェクト学習や調べ学習などの学習さえしていれば、生徒の知識は活用できるレベルにまでなるのかという疑問がありました。今回の中井先生の講習のおかげで、私がモヤモヤしていた重いがスッキリしました。教えるべきはしっかり教える。しかし、教え方次第でアクティブラーニングになる。ディスカッションなどもさせればなしや、させていれば力が付くわけでもなく教師がどのように手を入れるかが大切であると思わせていただきました。いつも大変な準備をしていただき、本当にありがとうございました。感謝しております。
- 今回も、中井先生がたくさんの資料を用意してくださって、受講してお腹いっぱいになりました。前回、「反転授業」の勉強会は、JRが動かなくて欠席しましたが本当に残念です。毎回、「授業デザインスキルアップ演習」では、ボリュームも中身もある講習を受けさせていただいて、感謝しています。ただ、中井先生及び大阪女学院大学のご厚意で、無料で受けさせていただいていますが、講習費用を取っていただけると、心苦しさが取れます。ドリンク、お菓子、エアコン代 etc. 実費+αを徴収していただけるとありがたいです。今日も、講習の内容を復習し、教材を授業に活かせれば良いなと思っています。ありがとうございました。
- 今年27年度は、高一を主に教えていますが、実は新カリキュラムを教えるのは初めてでした。今年からアクティブラーニングを授業で行っています。具体的には、ペアワーク、グループワーク、テキストにテーマに沿ったライティング等です。今後、これらの活動を授業で実施するにあたり、今回の講習はとても参考になりました。ALTを活用したり、夏休み明けから本校に来る留学生をペアワークやグループワークに参加させたりした理だと思います。「フィードバックは早いほうがよい」という中井先生の言葉を是非実行したいです。
- アクティブラーニングについては、言葉は耳にするものの、何をどのようにすれば良いのか全くわからない状態でした。しかし、本日、講習を受講させていただいて、授業で日頃行っていることもアクティブラーニングの一環であることが分かり、少し安心しました。今日学ばせていただいたことをもとに、明日からの授業に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 私は昨年までは職業系の高校に勤務しており、今年から普通科高校に異動しました。現在の高校ではアンケートの結果、生徒の英語（の授業）に対する関心は高く、その間かでも英語を使った活動にはとても興味を示してくれます。なので、できるだけ生徒の活動を多くできるようにはしていますが、内容理解が充分か心配になり、どうしても講義調になることが多々ありました。

本日の講習を通して内容理解そのものをアクティブ化していくことの可能性を感じました。「アクティブラーニング」という言葉に気を取られすぎることなく、「生徒の思考のアクティブ化」というものを大切にしていきたいと思いました。本日は有り難うございました。

- アクティブラーニングについて、理解が深まったような気がします。まだどこかでスッキリしない感じもあります。しかし、英語の授業で取り入れている様々な活動自体がアクティブラーニングであるし、新たに何か特別なことをするのではなく、多様な活動を駆使して生徒の英語力の向上に役立てられたらと思います。あり余るぐらいの資料をもう一度じっくりと目を通して、2学期の授業から新たな取り組みにも少しずつチャレンジしていきたいと思います。今日の講習の内容で覚えていることが5%にならないように、残りの夏休みは教材の内化に努めたいと思います。本日は貴重な時間をありがとうございました。
- 旬のトピックである Active learning についてじっくり学びたいと思っていたので、大変楽しみにしておりました。そもそも何をするのか、どのようなものであるのか、今後の課題など大変多岐に亘っているいろいろな学ぶことができました。一体この膨大な資料を作るのにそれくらいかかったのかと、中井先生のご準備のご苦労を思うと頭の下がる思いです。また、自分一人ではこのように系統立てて、幅広く学ぶことは不可能でした。大変学びの多い、意義深い1日となりました。ありがとうございました。授業に使える tips や idea などたくさんのお土産もいただき、2学期より早速活かしていきたいと意欲が湧きました。参加させていただきありがとうございました。なかなか多忙で自分が学ぶ時間がとれない中（そのような精神的余裕もない中）貴重な学びの機会となりました。
- アクティブラーニングは特別なものではなく、これまでも実践の中で取り入れてきたことなのだと、再認識しました。しかし、多忙な毎日の中、とすればマンネリ化して一方的な授業時間になりがちで、いろんなアイデアをわすれていたりして、反省しなければいけないと、身が引き締まりました。中3担当なので、評価もしっかりしていく必要がある中で、色々取り入れながら頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
- 「アクティブラーニング」というと、何か新しい教授法かと先入観をもっていました。今日の講義を聴いて、これまで取り組んできた活動の中にも「アクティブラーニング」はあったのだと分かり、少し安心しました。なかでも講義形式の授業でも「アクティブラーニング」は可能だという先生のお話は、普段の授業への取り組み方を考えさせられるものでした。今日の講義をもとに、2学期からの授業改善を図りたいと思います。職場の同僚にも資料は回覧してみるつもりです。本日はどうもありがとうございました。できれば、また来年も参加したいです。
- アクティブラーニングを教科指導の中で実施していくように求められています。それがどういうものかよくわからないと感じていました。また、自分がアクティブラーニングにつながるとして授業づくりをしても、人によっては異なる印象を持つ場合があると感じます。そういう意味では、今日のお話はアクティブラーニングの幅の広さ自由さを再確認しました。私は英語の授業の使命は、授業内でアクティブに考えさせると同時に生徒に外国語学習の自学自習の方策を提示する機会だとも考えています。授業でのタスクによっては予習などの家庭学習を課さないことも求められると思いますが、家庭学習、語学学習（生涯学習としての）についてはどのように折り合いを付けていけばよいか、悩んでいます。
- アクティブラーニングについての理解が深まりました。生徒に何を教えるかではなく、生徒がどのようにして英語を学ぶのかを考えなければならぬので、授業デザインが重要になると感じました。英語のことわざを発表させたり、英語のクイズを授業に取り入れたりするのが面白いと思います。生徒も授業に意欲的に参加していくのではないかと思います。

連日の猛暑の中、遠方からも来ていただくなど、学生を含め32名の皆様にお集まりいただき、授業デザインスキルアップ講習を行いました。この講習を始めて4年目ですが、今回、本当に多くの方に来ていただきました。今回の演習は、次期学習指導要領でも強く求められる指導形態のアクティブ・ラーニングを考察し、その活用の方略を考えることをねらいとして実施しました。アクティブ・ラーニングはなぜ効果があると考えられているのか、また、個々の生徒の学習意欲や学習能力を高めるためにはどのようにアクティブ・ラーニングという学習方法を活用すればよいか。これらのもどかしい思いに対し、教壇に立つ先生が少しでも明確な概念認識を持って、戸惑うことなく日々の授業を押し進めていただけるように、280枚からのスライドを用意しお話ししました。いつもながら量の多い資料でしたが、提供できるものはすべて惜しみなく提供する精神で臨んでいます。資料はご自宅でゆっくり読んでいただければと思います。

